

## 成果の説明書

(氏名) 齋川 貴嗣	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>① 研究</p> <p>➤ 日本における国際連盟研究の組織化</p> <p>研究分担者として実施してきた科研費研究課題「アジア太平洋における国際連盟—新たな国際連盟史研究の構築と発信」(17H02496) に関し、その成果として論文集を出版する予定である。<i>The League of Nations and East Asia: Globalism, Empires, and Inter-Civilization</i> というタイトル(仮)で、研究代表者である篠原初枝教授(早稲田大学)を中心に Routledge 及び Cambridge UP と交渉中である。この論文集には、Takashi Saikawa, "Intellectual Entanglements between the League of Nations and East Asia: Modernism or Anti-Modernism?" が収録される予定。</p> <p>➤ 日本の国際交流史研究</p> <p>土山實男・小倉和夫編『国際交流と日本—日本のアイデンティティ、文化、国をつくり育てた国際交流』(仮題)に、「国際連盟システムにおける日本の国際交流—国際連盟知的協力国際委員会と日本」と題する論文を寄稿した。現在出版社と交渉中であり、2021年度中に出版の予定。</p> <p>➤ 中国の文化外交史に関する国際共同研究</p> <p>スイス・ジュネーブ州立高等音楽院の Xavier Bouvier 教授が企画準備を行っている中国の文化外交史に関する国際共同研究に参加することとなった。Bouvier 教授とは2020年8月に Zoom で意見交換を行い、スイス国立科学財団(SNSF)の研究助成が得られ次第本格的に活動を始める予定である。</p> <p>② 教育</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、全てのゼミおよび講義をオンラインで実施した。また、海外フィールドワークは中止を余儀なくされた。オンラインという制約はあったものの、4年生全員が卒業論文の提出を果たした。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>以下の通り学会活動に従事した。</p> <p>日本国際文化学会常任理事、年報編集委員</p> <p>日本国際政治学会国際交流分科会責任者、分科会責任者連絡会議代表幹事</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>パンデミックが収束次第、海外史料館での史料調査を再開したい。また、数年来の課題となっているユネスコ設立史に関する論文を発表したいと考えている。</p>	